

さいたま 来ぶらり通信

Saitama Library



さいたま市

2011年
3月15日発行
第15号

休館日の図書館を のぞいてみよう！



毎年、さいたま市図書館では特別整理休館日を設けて、所蔵資料のチェック(蔵書点検)を行っています。どのような作業をしているかご紹介いたします。また、通常の休館日の作業もご覧ください。

【特別整理休館日】

① 所蔵資料のチェックが行われる前日、棚にある資料のデータを抽出します。作業は中央図書館で行われます。



② バーコードを読みとりやすいように資料を横向きにし、作業台に移動して、1冊ずつ資料についているバーコードを携帯端末で読み取っていきます。

専用の端末で資料のバーコードを読み込んでいます。



作業にかかる日数は、各図書館の所蔵冊数によって異なります。

③ 読み取り終えた資料のデータをコンピュータへ転送します。

④ 入力もれがないかチェックします。

⑤ 照合したデータを更新して、蔵書点検作業はこれで終了です。



エラーをチェック



データ集計中



たくさん本が返されるんだね。全部片付けるのは大変そうだな。



東浦和図書館の返却ポストの本を回収しています。

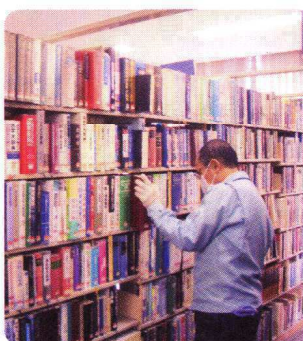
⑥ 休館中に返された資料を返却入力し、棚へ戻します。また、予約資料の貸出準備や新刊資料の受入れをします。これで開館することができます。

★その他、館内のレイアウト変更や、施設・設備の工事を行う図書館もあります。

【通常の休館日】



新聞の整理をしています。



請求記号順にきちんと並んでいるかどうかチェックしています。

ふだんの休館日は、土日にくたくさん返却された資料の配架(棚に本を戻す作業)や本棚が乱れていないかチェックする書架整理をしています。そうすることで、本が探しやすいくなります。古い新聞や雑誌を整理したり、さまざまな会議を行うこともあります。

図書館は資料を確実に提供するために、こんなにたくさん休館日にやることがあるんだね！



幻の武州鉄道を追う!

鉄道の街さいたま市。多くの鉄道路線が通り、首都圏の交通の要衝でもあります。ここには、かつて「武州鉄道」という鉄道がありました。武州鉄道は、大正13年に蓮田駅〜岩槻駅間で開業しました。当時の岩槻町（現在の岩槻区）には、明治以降長い間鉄道の路線がなく、開業の記念式典には、鉄道を待ち望んだ多くの人々が集まりました。その後昭和3年に岩槻駅〜武州大門駅（現在の緑区大門）間が開通し、昭和12年に武州大門駅〜神根駅（現在の川口市石神）が開通しました。当時、岩槻の人々は武州鉄道で蓮田駅まで行き、蓮田駅で東北本線に乗り換えて大宮・東京方面に出ていました。しかし、昭和4年に総武鉄道（現在の東武鉄道野田線）が開通し大宮方面へのアクセスがよくなると乗客は減少します。それによる収益の低下などにより昭和13年に廃止されました。

割り周囲とは異なる場所があり、そこが線路跡だと推測することができます。今回は、東武鉄道野田線以南から緑区大門までの武州鉄道を訪ね、鉄道を待ち望んだ人々の熱い思いをたどっていきたいと思います。

① 東武鉄道野田線の高架橋
東武鉄道野田線は、武州鉄道より後に開業したので、武州鉄道と交差していましたが、あたりに高架になっていました。かつては高架橋の橋脚に武州鉄道の時刻表が直接書かれていたが、東武鉄道の複線化工事の際に取り壊されたそうです。

② 武州鉄道の小径
岩槻区役所近くの浄安寺付近に、武州鉄道の線路が通っていました。県道さいたま春日部線から浄安寺へ入って

く細い路地が、「武州鉄道の小径」と名付けられて整備されています。

③ 岩槻中学校・太田小学校
現在の市立岩槻中学校・太田小学校は、武州鉄道の岩槻駅の敷地跡にあります。両学校に面した道路は周辺のものよりも広く、当時の駅前通りだったことがわかります。

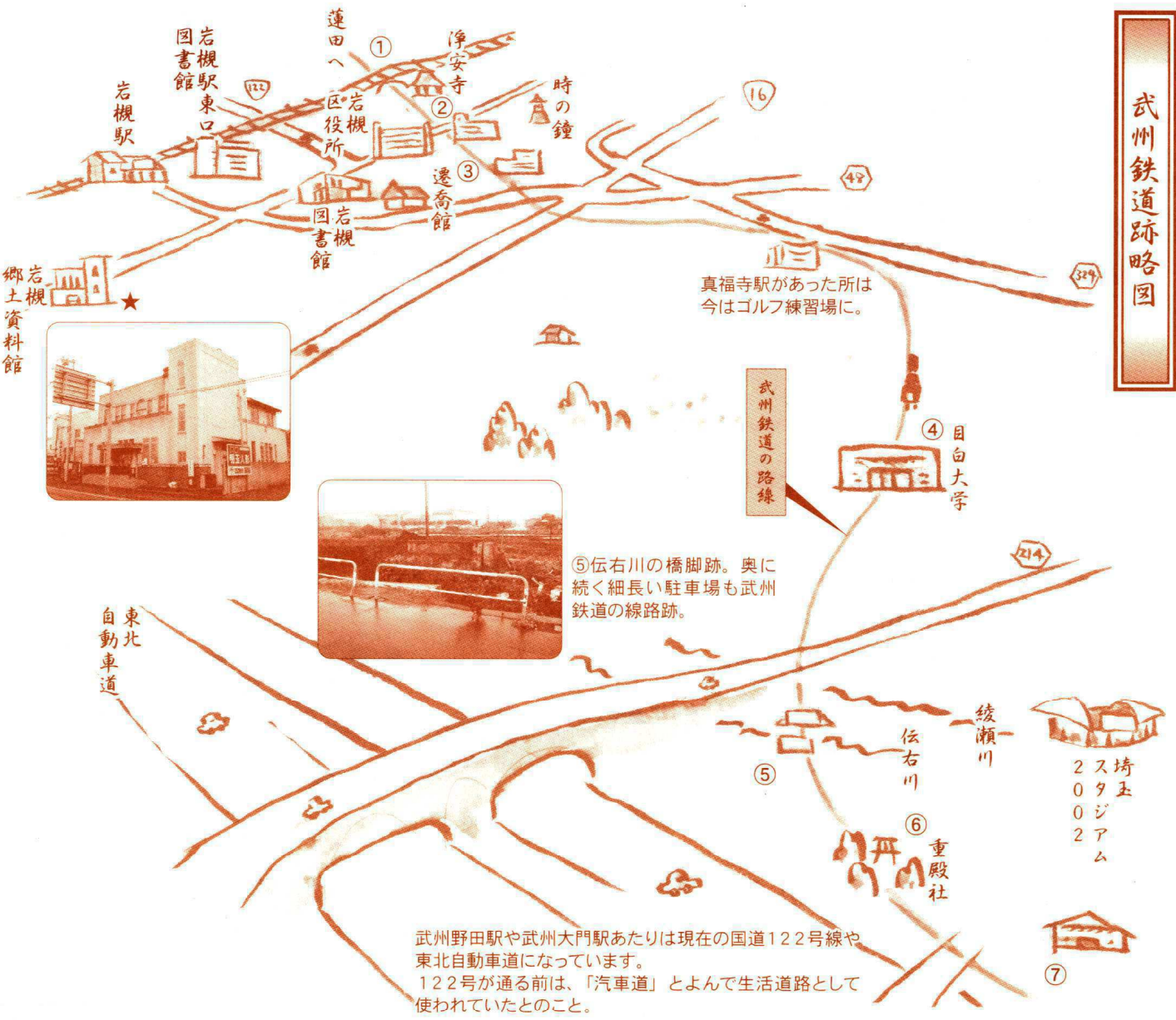
④ 目白大学
目白大学の正門に向かう道路が線路の跡です。周囲には線路跡と思われる盛り土があります。

⑤ 橋脚の跡
緑区高畑の伝右川に、武州鉄道のものと思われる橋脚の跡があります。約1メートル50センチの幅でポルトが打っており、レールと枕木が橋脚

に固定されていた跡がうかがえます。

⑥ 重殿社
武州野田駅付近にある神社です。境内には武州鉄道の開通を記念した碑が立っており、当時の人々の歓迎ムードがうかがえます。

⑦ 武州大門駅付近
武州大門駅付近には、当時の駅前食堂だった食堂が今も残っています。食堂の主人によると、現在の東北自動車道の本線車道あたりに駅があったとのこと。武州鉄道は貨物も扱っており、その当時の運送会社の看板もかつてはあったとのこと。



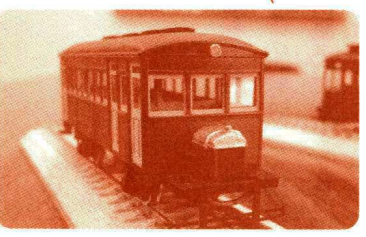
武州鉄道跡略図



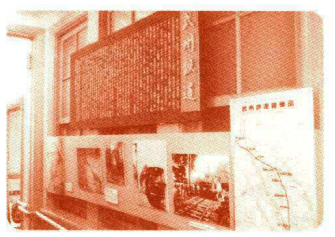
⑤ 伝右川の橋脚跡。奥に続く細長い駐車場も武州鉄道の線路跡。

武州野田駅や武州大門駅あたりは現在の国道122号線や東北自動車道になっています。122号が通る前は、「汽車道」とよんで生活道路として使われていたとのこと。

★ さいたま市立博物館
武州鉄道の車両模型をみよう！
さいたま市立博物館（大宮区高鼻町）には、当時の写真をもとに再現した武州鉄道のガソリンカーの模型があります。常設の展示ではありませんが、夏休みの展示の際にはレールに乗せて走らせています。



★ 岩槻郷土資料館
昭和初期に建てられた、かつての岩槻警察署の建物を使っています。武州鉄道については、パネルや当時の地図などの展示で大きく取り上げられています。ほか、岩槻区にある国指定史跡「真福寺貝塚」からの土器などの出土品、岩槻城に関する資料などを展示しています。江戸時代の民家を再現しているところもあります。



廃止後長い時間が経過し、痕跡がほとんど失われている武州鉄道。このようにその跡を歩いてみることで、当時の人々の鉄道に対する熱い思いが伝わってきました。皆さんもぜひ武州鉄道を感じてみてください。

- 中村正義「武州鉄道覚え書」 岩槻史林 第2号（岩槻地方史研究会編集、1972）所収
- 幻の武州鉄道 郷奇智著 岩槻地方史研究会、1976
- 岩槻市史 近・現代史料編2 新聞史料 岩槻市役所編、1981
- 航空写真集 埼玉 今を見る 埼玉新聞社、1982
- 飯山實「武州鉄道について」 浦和市史研究 第2号（浦和市総務部市史編さん室編集、1987）所収
- LOVE浦和 浦和市、1988
- 飯山實「飯山ノート覚書②―武州鉄道関係資料」 岩槻史林 第21・22号合併号（岩槻地方史研究会／編） 岩槻地方史研究会、1994）所収
- 鉄道廃線跡を歩く II 宮脇俊三編著 日本交通公社出版事業局、1996
- 鉄道廃線跡紀行 船越健之輔著、1997
- ふるさと美園 記念事業実行委員会編 浦和市立美園公民館、1999
- さいたまの鉄道 埼玉県立博物館編集 さきたま出版会、1999
- 武州鉄道 風間進著（自費出版）2001
- 写真誌緑区の今昔 さいたま市緑区想い出の写真誌刊行委員会編 同、2006
- 鉄道の街さいたま さいたま市立博物館編 さいたま市立博物館、2007
- 鉄道ファン 1998、12月号、1999、1月号、2月号 交友社

眠りの世界へようこそ

「長いこと私は早めに寝むことにしていた」という名高い文章ではじまる M. プルーストの「失われた時を求めて」(吉川一義訳、岩波文庫、2010)。この長大な物語が眠ることに関する考察で始まるのは示唆的です。「眠り」「睡眠」は、私たちのイマジネーションを自由にし、様々な考察の契機になるものなのかもしれません。前回の「食べる」、前々回の「体を動かす」に続いて、「眠る」にまつわる本をご紹介します。



ねむり衣の文化誌
— 眠りの装いを考える —
睡眠文化研究所・吉田集而編
冬青社、2003

世界中で、人々はどんな服を着て眠っているのでしょうか。眠るときは、寝る姿のまま眠る「昼衣型」、眠るときに服を脱ぎ、その中で上着を脱いで下着で眠るタイプ「下着型」とすべてを脱ぐ「裸型」、服を脱ぎ、ねむり衣に替る「ねむり衣型」の4つに分類できます。世界的に最も多いのが「昼衣型」で、世界のいろいろな地域で見られます。「裸型」には極北地域が多く、雪や水の着いた服を脱ぎ裸で寝具にもべりこむことで体温を使い寝具を温めて眠るタイプです。日本では、寝る時に着替えるようになったのは歴史的には日が浅く、古くは昼間の衣服のまま眠るのが当たり前でした。このことを意味する「着所寝」という言葉もあつたことをご存知ですか。

よい眠りのために、気持ちよく眠るために選ぶ「ねむり衣」について、過去から未来にわたって紹介しています。

枕
矢野憲一著 法政大学出版局 1996

なかには枕はいらないという方もいるでしょうが、人の眠りに欠かせないもの

のひところ枕があります。枕の起源は古く古墳からも石枕が出土されています。

夏はシヨウブの葉、秋には菊の花で作った風流な枕や、保管金庫を兼ねた箱枕、道中用携帯枕、さらには水枕や磁気枕などの枕の種類。髪型に左右され、時代によって変わっていった枕の歴史。枕という字がつく言葉や枕に関することわざ。さらには枕でない枕の話など、人生の三分の一はご厄介になる枕に関する研究書です。

江戸時代の枕売りや大正時代に国鉄でなされていた貸枕の話、また、うっかり食べると北枕に寝かされる羽目になることから名づけられた「北枕」という名前のフグの話などはとても興味深いです。万葉集をはじめとする歌や句も随所に挿入され、適量の深さを感じます。

日頃なげなく使っている枕を再確認し、枕を高くしておやすみください。

〈眠り病〉は眠らない
山内一也、北潔著 岩波書店 2008

「眠り病」、正式には「睡眠病」と呼ばれる病気がアフリカに存在します。

ツエツエバエという虫に刺され、「トリマンソーパー」という原虫を移されることにより発病します。はじめのつらみ、自覚症状はほとんどなく、そのうち発熱や

頭痛を繰り返し、症状が進んで慢性感染状態になると睡眠障害が起こって夜眠れなくなるため、昼間うつことするようになります。その後、けいれん等の神経症があらわれ、次いで昏睡状態におちいり死に至ります。病名からは想像しづらいのですが、治療をしなければ確実に死亡する恐ろしい病気なのです。

治療薬を必要とする人が多数いても採算がとれない等の理由で研究開発がほとんど行われず、新薬の開発が行われていない病気のことを「見捨てられた病気」と国境なき医師団等が呼んでいます。この病気もその一つです。本書ではアフリカでエイズ以上の猛威を振るっている「眠り病」の歴史と現状に迫ります。

眠りと夢のメカニズム
堀忠雄著 ソフトバンククリエイティブ
2008

「レム睡眠」「ノンレム睡眠」という用語は、今では多くの人々が聞いたことがあると思いますが、これが科学的に発見されたのは1953年で、比較的最近のことです。そのレム睡眠中に夢を見ることが、実は良く知られるようになりましたが、厳密には、ノンレム睡眠時にも夢を見ています。その質は違います。

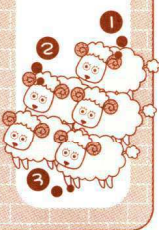
そこには、どのような違いがあるのか？ そもそも、なぜ夢を見るのか？ ……といった話から、睡眠時に「金縛り」が起こるメカニズムの解明や、睡眠と記憶の関係といった眠りの効能、また、生体リズムに合った睡眠法など、本書では、これまでの研究や実験結果を具体的に示しながら説明し、質の高い生活を送るためのヒントが書かれています。勿論、解明されていない点もまだまだ多いのですが、それでも、睡眠というものが、単に身体や脳の休息時間ではなく、もっと生産的な働きをしていることがわかり、睡眠の大切さを改めて認識させられます。

一通り読むと、睡眠科学についての知識や研究の足跡が概観できる内容になっていきます。



としかん
探偵事務所

Q 眠れないときに羊を数えるのはなぜ？

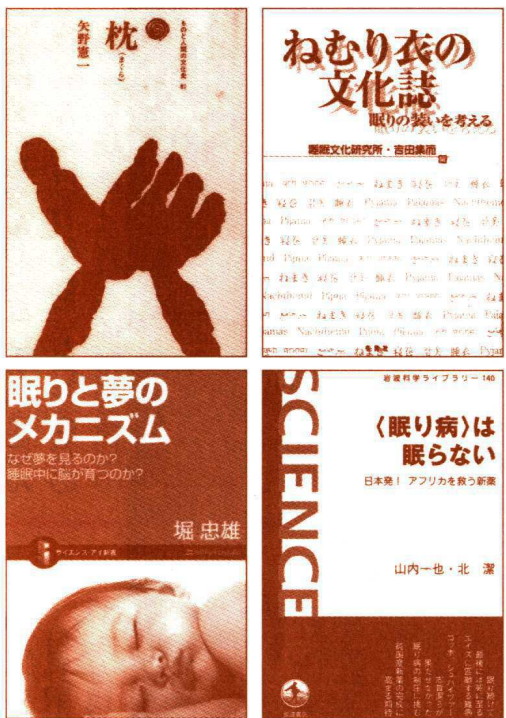


4 眠れないときによく言われるのが、羊の数を数えるという方法。でも、なぜ羊を数えるのかについては、残念ながら確かなことは分かっていないようです。ヨーロッパ人にとってノスタルジーともいえる羊が、安眠を誘うのだという「羊の「シープ」と睡眠の「スリープ」をこじつける説もある」など、さまざまな説が言われています。『雑学大志』東京雑学研究会編 東京書籍 2004。

そもそも、人はなぜ眠るのでしょうか？「疲労回復システム」として、睡眠が生体維持のために必要なものとしてからだにプログラムされているからです。「睡眠の必要量が不足すると、必ずそのぶんを取り戻さようとする機構がはたらくようになっていきます。恒常性維持機構と呼ばれるもので、脳が自動的に眠りの質と量を決定するという法則です。」『眠りを治す』井上雄一著 小学館 2008。

また、「睡眠は、ものすごく重要な機能を持っています。脳の休息と創造、記憶、睡眠物質の分泌、身体の免疫系や代謝系の活性化とメンテナンスなど、多くのことが眠っている間に実行されているのです。」「『快眠と不眠のメカニズム』田中匡著 日刊工業新聞社 2007。

睡眠不足や不眠はこれらの活動を止めることになり、身体や精神に影響を与えてしまいます。そのため、睡眠は重要な位置づけをもっているのです。羊を数える以外にも、眠るための工夫・方法はさまざまあります。例えば、「なかなか眠れない人のための熟眠の本」(長谷川和夫著 グラフ社 2009)では、「寝具による熟眠法」「寝室の整え方による熟眠法」(首による熟眠法)など、88の方法を紹介しています。心身の健康のためにも、さまざまな工夫で、気持ちの良い眠りを得られるようにしたいですね。



北浦和図書館

北浦和駅から徒歩5分、中山道に面した静かで落ち着いた雰囲気図書館です。もとは映画館、北浦和劇場跡地に昭和49年1月に開館しました。レンガ造りの建物の中には、1階に小説・実用書・雑誌・CD・ビデオ、2階に地域資料や参考資料など、3階が児童室、地下には講座室も備えた4階層に分かれています。



うなぎまつりに参加。うなこちゃんとしょ丸。

特色は、伝統産業うなぎに関する資料を集めた「うなぎコーナー」と浦和生まれのサツマイモ紅赤べにあかにちなんだ「さつまいもコーナー」の常設です。「うなぎまつり」に参加したり「紅赤ふれあいまつり」を開催したり、関連行事にも積極的に取り組んでいます。



また、児童向け行事も定例の「おはなし会」「あかちゃんおはなし会」「えほんのじかん」のほか、季節ごとに「おたのしみ会」を開催するなど、地域密着型の図書館として親しまれています。さらに、学校図書館支援センターの機能を持ち、年間を通じてさいたま市全域の小中学校へ向けた学習資料の貸出を行うことにより、学校単位での教育支援の役割も一手に担っています。北浦和へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

大原の大ケヤキ

続報

与野駅東口の交差点にあつた大ケヤキが伐採され、芸術作品に生まれ変わろうとしているという記事を前号で掲載しました。その続報です。

前号では「完成するのが3月」とお伝えしましたが、予想以上の木の硬さに作業は難航。2011年7月の完成を目指して彫刻家・本田貴侶ほんだたかとも先生の制作は続くことになりました。

とはいえ前回と比べると雰囲気は大分変わり、側面の女性像は丸みを帯び、さらにその横には赤ちゃんの姿が登場。全体的にもごつごつとした感じから温かみのあるものになっています。

「木とは、人がよりそうもの」とおっしゃる本田先生。いかにこのケヤキの木と対峙して制作していくかを語ってくれました。

かつてケヤキの木があつた場所は整備される予定だそうです。変わってゆく環境のなかでケヤキの木がどうなっていくか、今後もレポートしていきます！



作品の前でインタビューに答えてくれる本田先生(右)。公開制作の日時等のお問合せは、まちづくり総務課(829-1445)へ。

編集：さいたま来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

http://www.lib.city.saitama.jp/ 携帯電話用 http://www.lib.city.saitama.jp/m/ (下のQRコードを読み込んでください)

| | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|-------------------|
| 北浦和図書館 832-2321 | 桜木図書館 649-5871 | 春野図書館 687-8301 | 与野南図書館 855-3735 |
| 南浦和図書館 862-8568 | 大宮西部図書館 664-4946 | 大宮東図書館 688-1434 | 岩槻図書館 757-2523 |
| 東浦和図書館 875-9977 | 三橋分館 625-4319 | 七里図書館 682-3248 | 岩槻駅東口図書館 758-3200 |
| 桜図書館 858-9090 | 北図書館 669-6111 | 片柳図書館 682-1222 | 岩槻東部図書館 756-6665 |
| 大久保東分館 853-7100 | 宮原図書館 662-5401 | 与野図書館 853-7816 | |
| 大宮図書館 643-3701 | 馬宮図書館 625-8831 | 西分館 854-8636 | |

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 暖かくなるにつれて、花粉症対策で四苦八苦の方の姿が目につくようになりました。かく言う私も花粉症ですが、この微熱のあるような感じで、ああ春だなあ、と実感するようになりました。

次回発行：2011年7月15日

